

2019 年 9 月 13 日
株式会社みずほ銀行
株式会社 Blue Lab
学校法人早稲田大学



早稲田大学との「スマートスタジアム構想」に関する実証実験実施について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、学校法人早稲田大学（総長：田中 愛治、以下「早稲田大学」）と「スマートスタジアム構想（※1）」に関する実証実験を行い、株式会社 Blue Lab（代表取締役社長：向井 英伸、以下「Blue Lab」）も参加します。本実証実験は、早稲田大学と 2019 年 5 月 31 日に開始した共同研究（※2）に基づくものです。

＜今回の実証実験の概要＞

- ・ 実施日時：2019 年 9 月 18 日（水曜日）、2019 年 9 月 20 日（金曜日）
2019 年 9 月 22 日（日曜日）、2019 年 9 月 23 日（月曜日）
- ・ 実施場所：早稲田大学上井草グラウンド
- ・ 対象試合：World University Rugby Invitation Tournament 2019
 - 予選リーグ 1 日目 早稲田大学 - オックスフォード大学
 - 予選リーグ 2 日目 早稲田大学 - シドニー大学
 - 同 早稲田大学 - シベリア連邦大学
 - 決勝トーナメント 1 日目 早稲田大学 - 未定
 - 決勝トーナメント 2 日目 早稲田大学 - 未定
- ・ 対象者：World University Rugby Invitation Tournament 2019 来場者

〈みずほ〉では、これまで、IT 技術等を活用した取り組みを推進するため、先進的な IT 技術を保有する企業との連携を通じ、業界の垣根を超えたオープンイノベーションに取り組んできました。

また、早稲田大学との共同研究では、早稲田大学ラグビー蹴球部を研究題材として、スタジアム来場者に対するサービス向上等を狙いとしたマーケティング高度化およびデータの利活用等について研究を進めてきました。

そのような状況の中、本実証実験では〈みずほ〉および Blue Lab と早稲田大学が連携し、スタジアム来場者に対するサービス向上等を狙いとしたマーケティング高度化およびデータの利活用等の仕組みの一つとしてスポーツ観戦アプリサービスを検証します。

具体的には、ラグビー観戦するお客さまにスポーツ観戦アプリサービスを使って頂き、マーケティング高度化およびデータの利活用等に向けた課題の整理と評価を行います。

また、サービス構築とデータの利活用に向けた課題の整理と評価については、早稲田大学の学生と共にワークショップや調査を行い、協定書に基づいたデータサイエンス教育の一環としても取り組みます。

〈みずほ〉、Blue Lab は、今回の取り組みを契機として、データサイエンス活用の裾野拡大に向け、データの収集手段や利活用方法の研究および教育面の活用を目指します。さらに、我が国におけるデータサイエンス分野の研究力強化と人材育成に取り組み、第4次産業革命やSociety 5.0（※3）の実現に貢献していきます。

※1 スマートスタジアム構想

先端技術を活用することで、スタジアムと観客のつながりを構築し、新しい観戦体験を創出する構想。例えば、座席からの食べ物注文やキャッシュレス決済、観客のスマホへの映像配信などがあげられます。

※2 早稲田大学と2019年5月31日に開始した共同研究

2018年7月13日に締結した、データサイエンス活用の裾野拡大に向けた研究・教育に関わる学術協定書に基づき、スタジアム来場者に対するサービス向上等を狙いとしたマーケティング高度化およびデータの利活用等を目的とし、「スマートスタジアム構想」に関する共同研究。

※3 Society 5.0

革新的な科学技術で経済発展と社会的課題の解決を両立する、わが国が掲げる新たな社会像。

以 上